



Copyright © 2025 Daisuke Igarashi All Rights Reserved.

Guide Map

愛知芸術文化センター

Aichi Arts Center

愛知県陶磁美術館

Aichi Prefectural Ceramic Museum

瀬戸市のまちなか

Seto City

国際芸術祭
あいち
2025
灰と薔薇の
あいまに

Aichi Triennale 2025:
A Time Between Ashes and Roses

9.13—11.30.2025

Copyright © 2024 Daisuke Igarashi All Rights Reserved.



国際芸術祭「あいち2025」へようこそ

みなさんに新たな息吹をもたらす芸術祭に！

「灰と薔薇のあいまに」というテーマのもと、ここ「あいち」に60組を超えるアーティストが集います。繁華街の中心にある巨大な複合施設から、丘陵地の緑豊かな美術館や、レトロなアーケードに新旧の店が入り交じるまちなかまで、バラエティに富んだ会場にぴたりとマッチする作品や公演が勢揃い。この芸術祭は、1000年以上続くやきもの歴史はもちろん、世界中にファンを持つ日本の漫画や都会の夜を彩るクラブイベント、地元の食材やアーティストのレシピを生かしたカフェなど、アートだけではない楽しみにも満ちています。

世界では日々様々なことが起きていますが、誰もが互いに関わりを持ちながら生きており、アーティストたちもまた、それぞれのバックグラウンドや関心に応じて活動しています。そうした作品や公演を通じて、この芸術祭がみなさんに多彩な感情を湧き起こし、新たな息吹をもたらすことを期待しています。



芸術監督
フル・アル・カシミ

アラブ首長国連邦出身

世界中のアートをつなぐ支援者として、2009年にシャルジャ美術財団を設立。2024年にはアート界でもっとも影響力のある100組をランキングで発表するArtReview誌の「Power 100」で1位に選出。キュレーターとしての実績や世界的な人脈から、「あいち」初の外国人芸術監督に就任した。

Photo:SEBASTIAN BÖTTCHER

国際芸術祭「あいち2025」灰と薔薇のあいまに

2010年から3年ごとに開催されている「あいち」の国際芸術祭は、今回で6回目を迎えます。「あいち2025」は国内外から60組を超えるアーティストが参加し、現代美術展は54アーティストの作品、パフォーマンスアーツは9アーティストの公演が3会場です。



公式サイト

開催概要

[名称] 国際芸術祭「あいち2025」 [テーマ] 灰と薔薇のあいまに
[会期] 2025年9月13日(土)～11月30日(日)〈79日間〉

contents

P.3	概要	P.6	愛知芸術文化センター	P.26	パフォーマンスアーツ
P.4	アクセス・チケット	P.12	アトラがあいちと四芸大による連続個展	P.27	巡回展示「ポップ・アップ！」
P.5	Q&A	P.14	愛知県陶磁美術館	P.28	カレンダー・開館情報
		P.20	瀬戸市のまちなか		
		P.25	作品とともに楽しむ瀬戸の魅力		

作品を展示、上演するのは3会場

愛知芸術文化センター



名古屋の中心エリア「栄」に位置し、一番多くの作品を見ることができる会場。

愛知県陶磁美術館



豊かな自然に囲まれた、国内屈指のコレクションを誇る陶磁専門ミュージアム。

瀬戸市のまちなか



国内最大級のやきもの産地。閉校した小学校、工場など、ロケーションを生かした展示が魅力。

プログラムのジャンルは3つ

現代美術

〈本ガイドマップの表記〉

「あいち2025」の基軸となるプログラムで、愛知芸術文化センター、愛知県陶磁美術館、瀬戸市のまちなかの3会場で見ることができます。ダイナミックな作品が多いのも「あいち2025」の特徴です。

- A00** 愛知芸術文化センター
- C00** 愛知県陶磁美術館
- S00** 瀬戸市のまちなか

パフォーマンスアーツ

ダンス、演劇、サウンドなど、身体を使って表現するパフォーマンス。愛知芸術文化センターを中心に9作品を毎週末上演し、多くが世界・日本初演です。公演ごとにチケットの購入や予約が必要です。(→P.26)

P00

ラーニング

アートを身近に感じられるレクチャーやワークショップなどを実施。様々な鑑賞ツアーも開催します。愛知芸術文化センター8F(→P.9)、瀬戸市のまちなか(→P.20)に拠点となる「ラーニングセンター」を設置します。

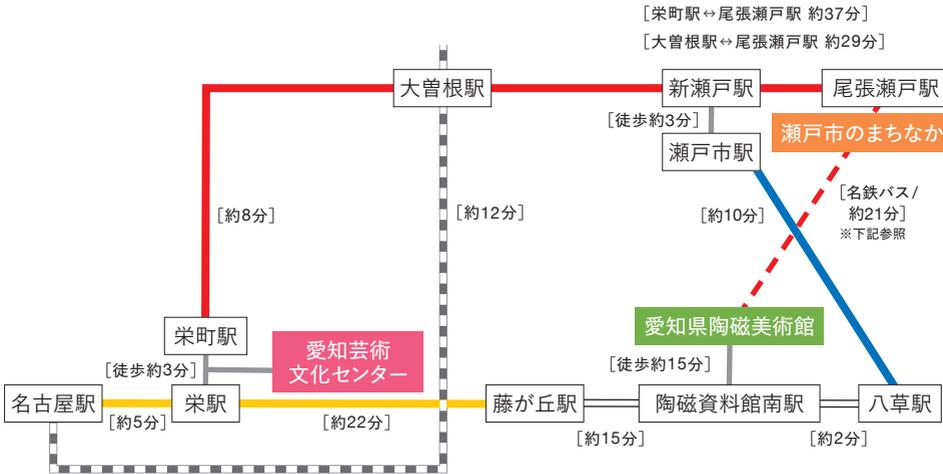
L00

MAP内ピクトグラム一覧

インフォメーション	オフィシャルショップ	授乳室	AED
チケットカウンター (販売・アップグレード対応)	コラボレーションショップ	バリアフリー対応	飲食店
チケット売場 (販売)	トイレ	コインロッカー	駐車場
多機能トイレ	エレベーター	バス停	サポートが必要な方へのご案内

アクセス

- 地下鉄東山線
 - 名鉄瀬戸線
 - 東部丘陵線(リニモ)
 - 愛知環状鉄道
 - JR中央線
- 愛知芸術文化センターから愛知県陶磁美術館へ(約1時間)
 - 愛知芸術文化センターから瀬戸市のまちなかへ(約45分)
 - 愛知県陶磁美術館から瀬戸市のまちなかへ(約30分)



会期中は、瀬戸市のまちなかと愛知県陶磁美術館をつなぐ路線バスが運行しています。



- 陶磁美術館⇒瀬戸駅前(名鉄尾張瀬戸駅)
- 瀬戸駅前(名鉄尾張瀬戸駅)⇒陶磁美術館

平日		土日祝		平日		土日祝	
発	着	発	着	発	着	発	着
10:29	▶ 10:50	9:28	▶ 9:49	9:50	▶ 10:11	8:49	▶ 9:10
12:29	▶ 12:50	10:52	▶ 11:13	10:55	▶ 11:16	10:10	▶ 10:31
13:54	▶ 14:15	13:22	▶ 13:43	12:55	▶ 13:16	12:20	▶ 12:41
15:24	▶ 15:45	15:01	▶ 15:22	14:20	▶ 14:41	14:20	▶ 14:41
		16:32	▶ 16:53			15:50	▶ 16:11

※月曜運休。祝休日の場合は翌日火曜運休になります。(→P.28) (名鉄バス 片道運賃410円)

現代美術展チケット

会期中、一定料金(一般¥1,400、学生¥900)をお支払いいただくことで、「1DAYパス」から「フリーパス」へ各会場のチケットカウンターでアップグレードができます。

	一般	学生(高校生以上)
フリーパス	¥3,500	¥2,300
1DAYパス	¥2,100	¥1,400

※中学生以下は無料です。
※パフォーミングアーツは別途チケットが必要です。(→P.26)



チケットの詳細

「あいち2025」をもっと楽しむためのQ&A

Q.1 会場は何日かけて見るのがよいですか？

- A. 会場は基本的に1日1会場、3会場を計3日かけて巡ると、会場周辺まで楽しめます。パフォーミングアーツの観劇やラーニング・プログラムへの参加も、予定にぜひ組み込みましょう。日程がタイトな方はモデルコース(→P.12、P.24)も参考に！

Q.2 どんな鑑賞ツアーがありますか？

- A. 作品を見て感じたこと、考えたことをグループで話し合いながら作品の見方を深める対話型鑑賞ツアーを行います。作品解説ツアーもあるので気軽に参加できます。視聴覚に障がいのある方や小さなお子様連れの方を対象にしたツアーも用意しています。



ラーニング・プログラム一覧

Q.3 スマートフォンでも会場マップを見られますか？

- A. 展示会場のほか、まち歩きに役立つ情報を表示する、公式のデジタルマップがあります。行きたいスポットまでの案内機能もあるので、このガイドマップと併用しながら「あいち2025」をお楽しみください。



デジタルマップ

Q.4 グッズはどこで買えますか？

- A. 各会場にオフィシャルショップを設け、芸術祭のグッズやアーティストグッズを販売します。漫画家・五十嵐大介さんのキービジュアルを配したグッズも充実。また、地元人気店とのコラボレーションショップ「TEMPORA」が愛知芸術文化センター(→P.7)に、「LIVERARY Extra Season5」が瀬戸市のまちなか(せと末広町商店街→P.22)に登場します。



コラボレーションショップはこの2つのロゴが目印

Q.5 事前に注意したほうがよいことは？

- A. 会場ごとに開館日時が異なるので、「カレンダー・開館情報」(→P.28)を確認してから出かけましょう。瀬戸市のまちなかは、坂道や交通量の多い道もあるので、歩きやすい服装で、注意しながら移動してください。暑い日の水分補給も忘れずに。また、写真・動画撮影は「撮影禁止」マークのある作品を除きOKです。ぜひSNSでシェアしましょう！

多数の展示、公演が見られる「あいち」の中心地

愛知芸術文化センター

10:00~18:00(金曜は20:00まで) ※入館は閉館の30分前まで
休館日:月曜(月曜祝日の場合は翌火曜) ※9/16(火)、11/25(火)は臨時開館

複数のフロアで現代美術展を開催する愛知県美術館、多数のパフォーミングアーツを上演する愛知県芸術劇場が入った複合施設。センター内にはオフィシャルショップやコラボレーションショップ、ラーニングセンターも設置します。周辺には多くの宿泊施設や飲食店を含む繁華街があり、鑑賞のベースキャンプ的な役割も担います。

スタッフによる「あいち2025」ガイド

！ 推奨ルートはなし！好きな順番でたくさんの表現に触れて

絵画や彫刻、映像やインスタレーション、漫画、演劇にダンス…。愛知芸術文化センターでは、たくさんの表現に出会えます。

！ ジャンル横断のアーティストに注目

パゼル・アッパス&ルアン・アブ＝ラーメ、マユキキ、セルマ&ソフィアン・ウィスイは、展示とパフォーマンス作品の両方を発表します。美術館や劇場のみならず、クラブや瀬戸市のまちなかでも作品が展開されるのでお見逃しなく！

！ みなさんが安心できる鑑賞サポート

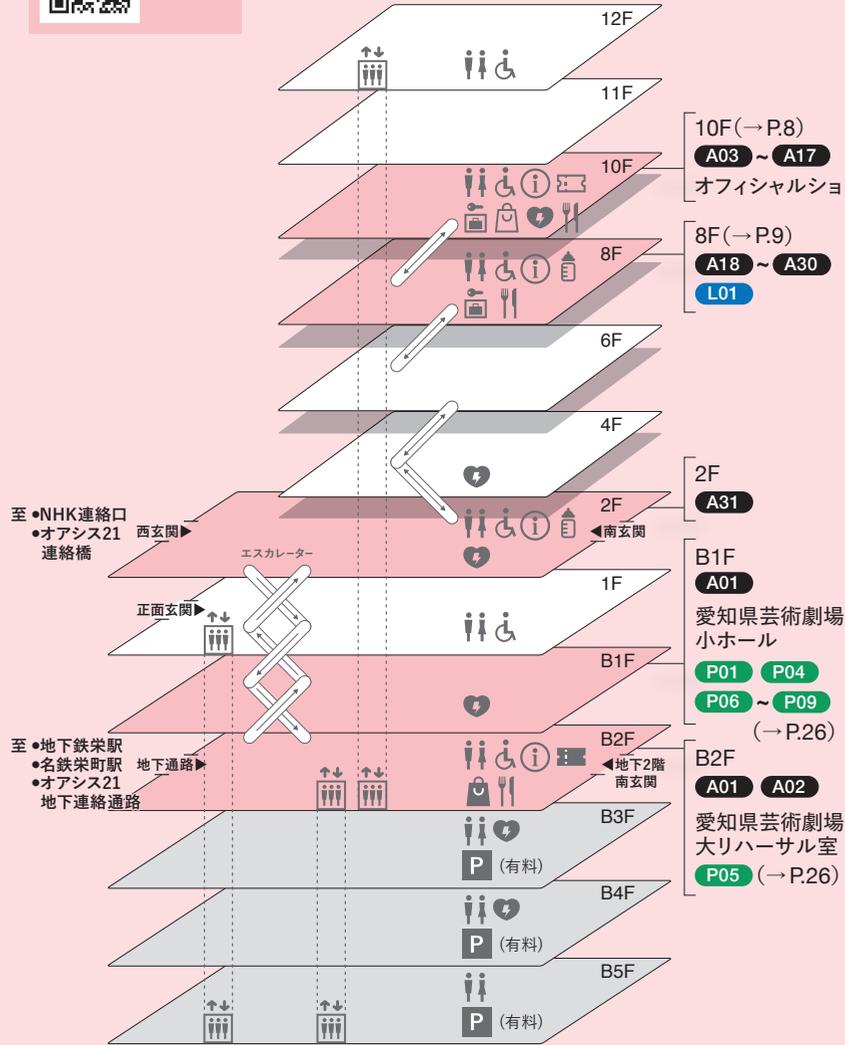
パフォーミングアーツ公演では、車いす席、託児サービスのほか、障がいのある方や高齢者、小さなお子様が一緒に楽しめるように配慮したリラックス・パフォーマンス(→P.26)などを用意しています。ラーニング・プログラムでは、様々な人がより展示を楽しめるようにツアーや鑑賞サポートを行い、「やさしい日本語チラシ」を配布します。



キュレーター(パフォーミングアーツ)
中村 茜 [パフォーミングアーツ・プロデューサー]
東京都生まれ。日本大学芸術学部在籍中より舞台芸術に関わる。株式会社 precog 代表取締役。翻訳と横断をテーマに、現代演劇、コンテンポラリーダンスなどのアーティストやカンパニーの、国内外の活動のプロデュースを手掛ける。



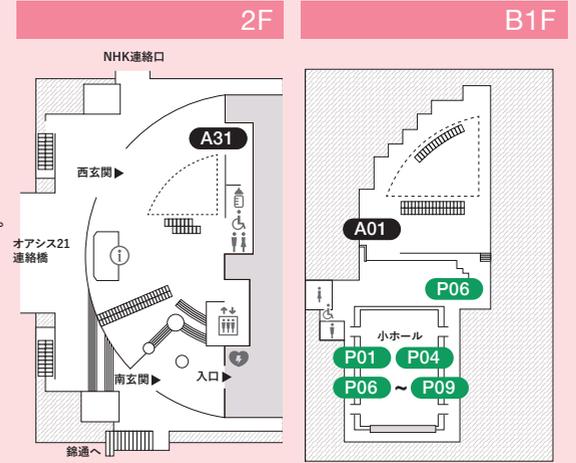
DIGITAL MAP



※車いす、ベビーカーでB1Fをご利用の方は、インフォメーションにお越しください。

週末はパフォーミングアーツを楽しもう

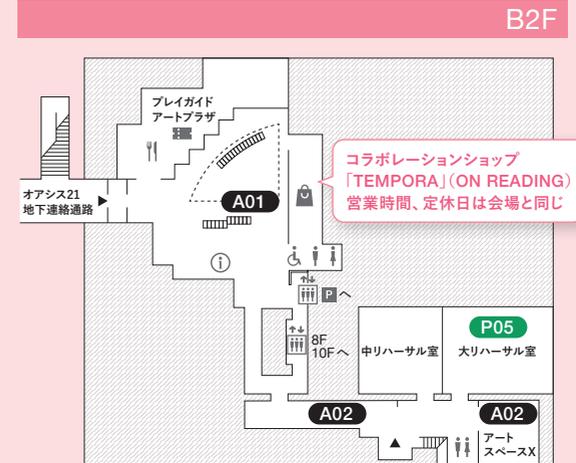
パフォーミングアーツ公演の多くは、美術館やまちなかの会場が閉館した後の時間帯にも開催します。毎週上演するので、うまく組み合わせるとスケジュールを立てると、「あいち2025」をより楽しめます。



A31 ミルナ・バーミア (旧レストラスペース)

A01 久保寛子 (B1F 展示ケース)

P06 オル太 (作品展示、期間限定)

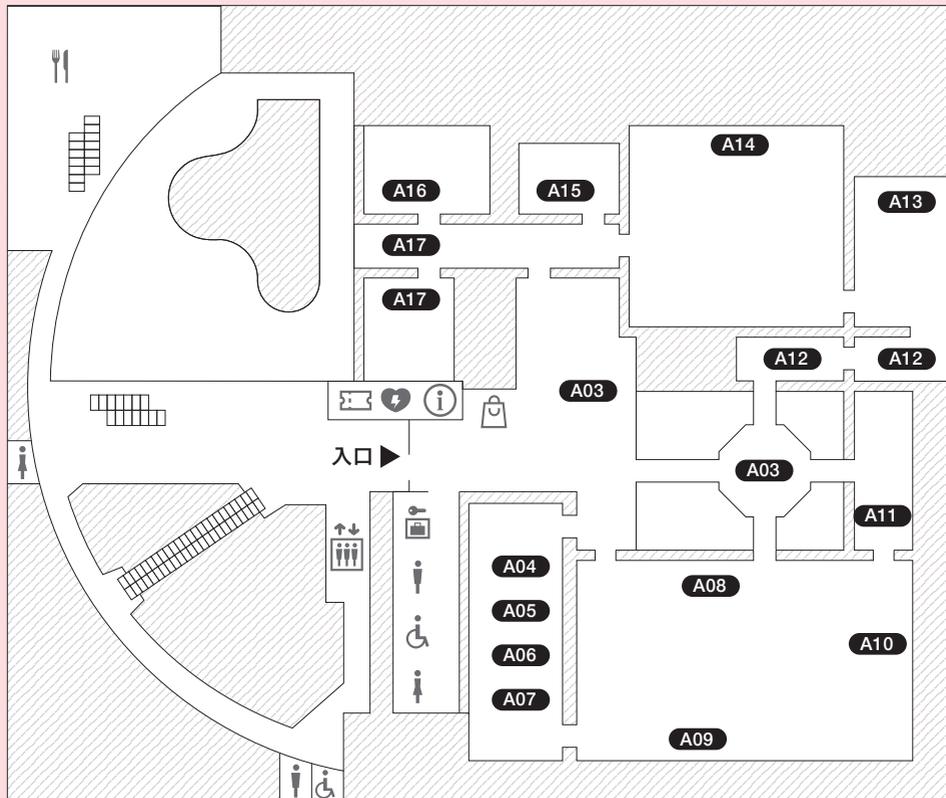


A01 久保寛子(フォーラムII)

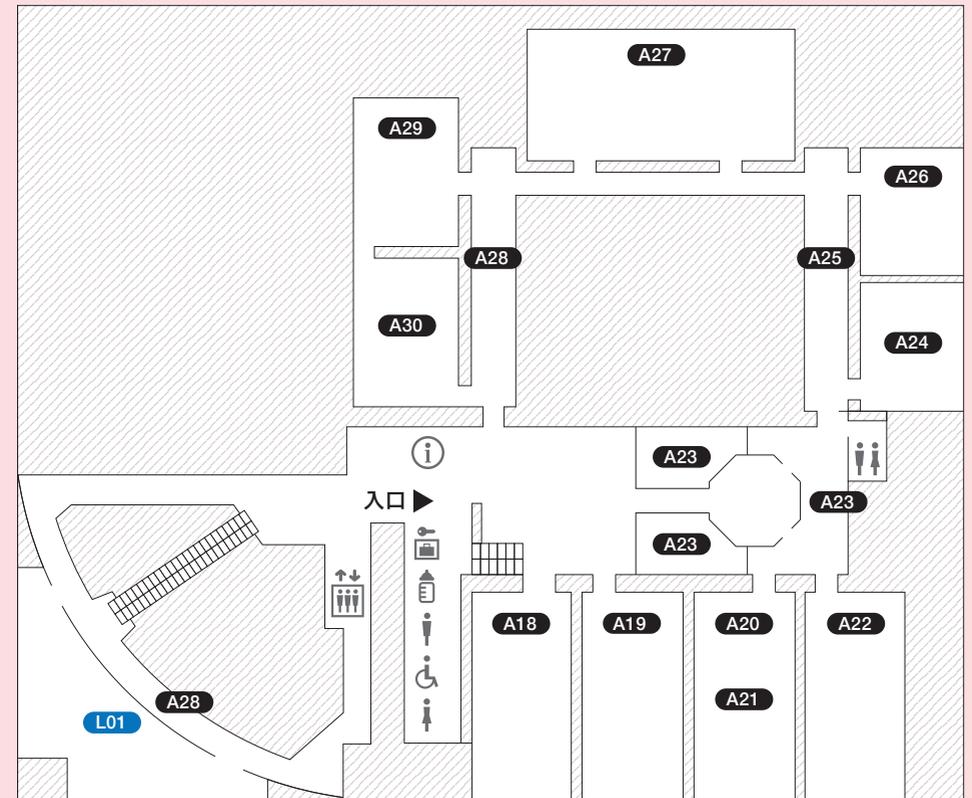
A02 札本彩子(アートスペースX、B2F 展示ケース)

現代美術展のアーティスト紹介は→P.10

パフォーミングアーツの紹介は→P.26



- | | |
|-------------------|--------------------|
| ●A03 ムルヤナ | ●A11 諸星大二郎 |
| ●A04 杉本博司 | ●A12 山本作兵衛 |
| ●A05 太田三郎 | ●A13 川辺ナホ |
| ●A06 水谷清 | ●A14 ダラ・ナセル |
| ●A07 宮本三郎 | ●A15 バーシム・アル・シャーケル |
| ●A08 ウェンディー・ヒュバート | ●A16 ハラーイル・サルキシアン |
| ●A09 大小島真木 | ●A17 小川待子 |
| ●A10 アフラ・アル・ダヘリ | |



- | | |
|---------------------|--------------------------|
| ●A18 シルビア・リバス | ●A25 ムハンマド・カゼム |
| ●A19 プリヤギータ・ディア | ●A26 イキバウイクルル |
| ●A20 浅野友理子 | ●A27 バゼル・アッパス&ルアン・アブ=ラーメ |
| ●A21 カマラ・イブラヒム・イシャグ | ●A28 ソロモン・イノス |
| ●A22 ロバート・ザオ・レンファイ | ●A29 是恒さくら |
| ●A23 クリストドゥロス・パナヨトウ | ●A30 ジョン・アコムフラ |
| ●A24 マユンキキ | ●L01 ラーニングセンターへたち |

道路整備などにより、取り残された変わった形の土地を意味する「へたち」。吹き抜け空間に切り取られた展示室に、レクチャーやワークショップなどのプログラムの実施の場、ボランティア活動の拠点を開設します。

A01

久保寛子

1987年広島県生まれ。千葉県拠点。



《ヒト新世の群像》2022
Photo: 浅野堅一

A04

杉本博司

1948年東京都生まれ。ニューヨーク(米国)拠点。



《シロクマ》1975
© Hiroshi Sugimoto / Courtesy of Gallery Koyanagi 作家蔵

A07

宮本三郎

1905年石川県生まれ。1974年東京都にて没。



《東山動物園猛獣園壁画 No.3》1948
名古屋市美術館蔵

A10

アフラ・アル・ダヘリ

1988年アブダビ(アラブ首長国連邦)生まれ。アブダビ(アラブ首長国連邦)拠点。



《Split Ends》2020
Photo: Anna Shtraus
Courtesy the Artist and Green Art Gallery, Dubai

A02

札本彩子

1991年山口県生まれ。京都府拠点。



《pavlov's dog》2021

A05

太田三郎

1884年愛知県生まれ。1969年東京都にて没。



《東山動物園猛獣園壁画 No.1》1948
名古屋市美術館蔵

A08

ウェンディー・ヒュバート

1954年インジバルンディ・カントリー／ビルバラ(豪州)生まれ。インジバルンディ・カントリー／ビルバラ(豪州)拠点。



《インジバルンディの風景》2024

A11

諸星大二郎

1949年長野県生まれ。東京都拠点。



《変身の森(マッドメン)『月刊少年チャンピオン』1981

A03

ムルヤナ

1984年バンドン(インドネシア)生まれ。ジョグジャカルタ(インドネシア)拠点。



《Sea Remember》2018
Collection of Paulus Ong.

A06

水谷清

1902年岐阜県生まれ。1977年東京都にて没。



《東山動物園猛獣園壁画 No.2》1948
名古屋市美術館蔵

A09

大小島真木

2023年東京都で結成。東京都拠点。
大小島真木、1987年東京都生まれ。／辻陽介、1983年東京都生まれ。



《明日の収穫》2017-18 Photo: Mari Habaya
© Maki Ohkajima with Agros Art Project All Rights Reserved
青森県立美術館寄託

A12

山本作兵衛

1892年福岡県生まれ。1984年福岡県にて没。



《低層炭 坐り廻り》1973
© Yamamoto Family

A13

川辺ナホ

1976年福岡県生まれ。ハンブルク(ドイツ)、福岡県拠点。



《In Search of Utopia - Et in Arcadia ego》(部分) 2024
Photo: 川崎一徳

A16

ハラール・サルキシアン

1973年ダマスカス(シリア)生まれ。ロンドン(英国)拠点。



《Execution Squares》2008
Collection of Tate Modern.

A19

プリヤギーター・ディア

1992年シンガポール生まれ。ハーグ(オランダ)拠点。



《LAMENT H.E.A.T》2023
Courtesy of the artist

A22

ロバート・ザオ・レンフイ

1983年シンガポール生まれ。シンガポール拠点。



《Albizia》2023

A14

ダラ・ナセル

1990年スール(レバノン)生まれ。ペイルート(レバノン)拠点。



《Adonis River》2023

A17

小川待子

1946年北海道生まれ。東京都拠点。



《結晶と総棒：五つの山》2020
Photo: Tadayuki Minamoto
Courtesy of Shibunkaku

A20

浅野友理子

1990年宮城県生まれ。宮城県拠点。



《休らう葉草》2020
個人蔵

A23

クリストゥロス・パナヨトゥ

1978年リマソール(キプロス)生まれ。リマソール(キプロス)拠点。



《MARCH, APRIL, NOVEMBER》Sylvia Kouvaliでの展示風景、2021
Photo: Lewis Ronald

A15

バーシム・アル・シャーケル

1986年バグダッド(イラク)生まれ。ニューヨーク(米国)拠点。



《Sky Revolution》2023

A18

シルビア・リバス

1957年プエノスアイレス(アルゼンチン)生まれ。プエノスアイレス(アルゼンチン)拠点。



《Buzzing Dynamics》(ビデオ・スチル) 2010

A21

カマラ・イブラヒム・イシャグ

1937年オムドゥルマン(スーダン)生まれ。シャルジャ(アラブ首長国連邦)、ハルツーム(スーダン)拠点。



《My Two Neems》2023
Photo: Waleed Shah

A24

マユンキキ

1982年チカブニコタン、ヤウンモシリ／近文コタン、北海道生まれ。ヤウンモシリ／北海道拠点。



《SKINURE - Let me live》2022
Photo: Stuart Whipps
Courtesy of Ikon Gallery.

A25

ムハンマド・カゼム

1969年ドバイ(アラブ首長国連邦)生まれ。ドバイ(アラブ首長国連邦)拠点。



《Photographs with Flags》1997
Courtesy of the artist and Gallery Isabelle, Dubai

A28

ソロモン・イノス

1976年オアフ(米国)生まれ。オアフ(米国)拠点。



《MMMMRRRRZZMMMM》2019

A31

ミルナ・パーミア

1983年エルサレム(パレスチナ)生まれ。リスボン(ポルトガル)拠点。



《Sour Cords》2024
Courtesy of Nika Project Space and the artist.

こんな巡り方もあり? モデルコース①

1泊2日 週末で全会場鑑賞コース

[1日目]
9:30 愛知県陶磁美術館→
15:00 愛知芸術文化センター→
(18:30 パフォーミングアーツ鑑賞)

[2日目]
10:00 瀬戸市のまちなか→1日散策
→18:00 名古屋市内着

1日目、2日目は天候によって入れ替えよう。やきものをお土産にする際は、お買物の時間は後半に。

A26

イキバウイクレル

2021年ソウル(韓国)で結成。ソウル(韓国)拠点。チョ・ジウン、1975年ソウル(韓国)生まれ。ノ・キム・ジュンウォン、1996年ソウル(韓国)生まれ。ノ・コ・ギョル、1994年チェジュ島(韓国)生まれ。

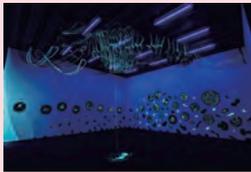


《Seaweed Story》2022

A29

是恒さくら

1986年広島県生まれ。広島県拠点。



《鯨を解き、鯨を撫む》2021
Photo: KOIWA Tsutomu
Courtesy of Sendai Mediatheque.

A27

パゼル・アッバス&ルアン・アブ=ラーメ

パゼル・アッバス、1983年ニコシア(キプロス)生まれ。ニューヨーク(米国)、ラマツラ(パレスチナ)拠点。ノルアン・アブ=ラーメ、1983年ボストン(米国)生まれ。ニューヨーク(米国)、ラマツラ(パレスチナ)拠点。

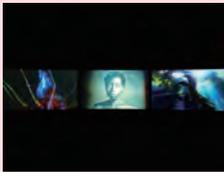


《May amnesia never kiss us on the mouth: only sounds that tremble through us》2020-22 Photo: Christian Oen
©Astrup Fearnley Museet, 2023.

A30

ジョン・アコムフラ

1957年アクラ(ガーナ)生まれ。ロンドン(英国)拠点。



《Vertigo Sea》2015
©Smoking Dogs Films; Courtesy of Smoking Dogs Films and Lisson Gallery.

アートラボあいちと四芸大による連続個展

愛知県内の芸術実践を学べる4つの芸術大学、愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学、名古屋学芸大学と、アートラボあいちが協働し、各大学から卒業・修了後10年以内のアーティストを各1名選出、連続個展形式で紹介しします。(入場無料)

- 西川澁都「窓、風、光、またね」
9月13日(土)~9月28日(日)
- 山ノ内陽介「太古の残滓(ざんし)をくみ上げる」
10月4日(土)~10月19日(日)
- 中崎由梨「fill the space」
10月25日(土)~11月9日(日)
- 川西りな「答えのない自由に、答えを描く」
11月15日(土)~11月30日(日)



Photo by Tanizawa Yosuke

アートラボあいちとは?

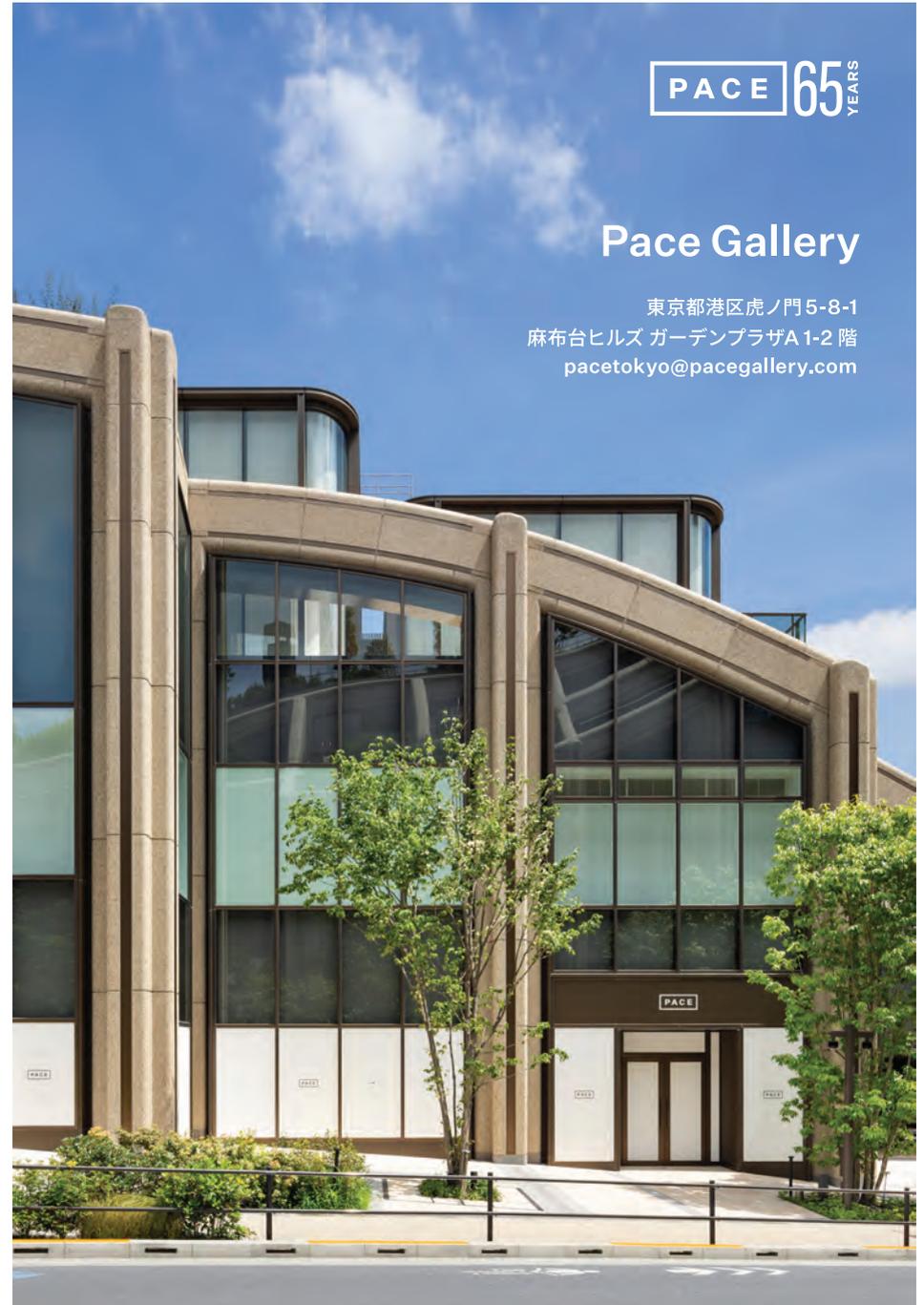
1933(昭和8)年竣工のレトロな建物に入る情報発信基地。展覧会や様々なプログラムを実施し、愛知県内の芸術大学や地域の文化機関と連携した芸術活動を実践しています。

住所:愛知県名古屋市中区丸の内3-4-13
愛知県庁大津橋分室2~3階

アクセス:地下鉄名城線「名古屋城」駅から徒歩約5分 など
TEL: 052-961-6633 休館日:月曜・火曜
開館時間:11:00~19:00



アートラボあいち



PACE 65 YEARS

Pace Gallery

東京都港区虎ノ門5-8-1
麻布台ヒルズ ガーデンプラザA1-2 階
pacetokyo@pacegallery.com

愛知県陶磁美術館

9月/9:30~17:00 10月・11月/9:30~16:30 ※入館は閉館の30分前まで
休館日:月曜(月曜祝日の場合は翌火曜) ※9/16(火)、11/25(火)は臨時開館

2025年4月にリニューアルオープンした「本館」をはじめ、「デザインあいち(旧南館)」、陶芸体験施設「つくとこ陶芸館」、古窯跡を公開する「窯の記憶I・II」などがあり、様々な角度からやきものにアプローチする陶磁専門ミュージアム。芝生広場などの野外空間も魅力。

スタッフによる「あいち2025」ガイド

！1日かけて美術館をまるごと楽しんで

4つの建物と屋外に展示されている「あいち2025」の作品はもちろん、本館2階のコレクション展も併せて楽しめます。修繕工事を経たばかりの谷口吉郎設計の建築も見どころです。古窯跡の見学、陶芸体験など、1日を贅沢に過ごせます。

！やきもんで表現する2アーティストに注目

黒人女性の主体性をめぐる問題を探求するシモーヌ・リーや、身体とやきもの新たな関係性を提示する西條茜は、やきものを表現手段とする近年注目のアーティストです。

C05 西條茜(→P.18) **C06** シモーヌ・リー(→P.18)

！緑豊かな自然に囲まれた美術館

愛知県陶磁美術館が位置するのは緑豊かな丘陵地。最寄り駅からの道や、周辺の散策路ではこの地の自然を味わうことができます。もっと自然や土地の歴史に触れたい方は、少し足を延ばして、あいち海上の森センター周辺を散策するのもおすすめです。



キュレーター(現代美術)

入澤聖明 [愛知県陶磁美術館学芸員]

大阪府生まれ。京都国立近代美術館キュレトリアル・インターンシップを経て、アサヒグループ(旧アサヒビール)大山崎山荘美術館で学芸員として勤務。2018年より現職。専門は日本の近・現代陶芸史。芸術表現としての陶芸だけでなく、産業的な視点も軸として展覧会を企画。

施設内では当日受付でも
陶芸体験(有料)できます!
(9:30~14:30 受付終了)



ハイブ・アース

土を叩いて固める「版築」という技法を用いた展示。
凸と凹、それぞれを2カ所に設置します。

- 瀬戸の版築プロジェクト「凸」
- 瀬戸の版築プロジェクト「凹」

三日三晩、炎を囲む!!

11月1日(土)~3日(月・祝)には、その名も「炎を囲む三日三晩——「瀬戸」に触れる特別な時間」を開催。美術館が毎年秋に開催している復元古窯焼成イベントと合わせて、開館時間を延長するナイトミュージアムやラーニング・プログラムなどを実施。11月2日(日)16:00~21:00には、Barrack企画の音楽ライブやフードが並ぶ「ホノオノ夜市」も、「つくとこ陶芸館」周辺で行います。

茶室では、土・日・祝は
喫茶メニューも楽しめます
(11:00~16:30(L.O.16:00))



『Who are you たそかれ』

Barrack(古畑大気+近藤佳那子)
瀬戸市内で「Art Space & Cafe Barrack」を営むBarrackによるカフェとギャラリー。カフェでは芸術祭に合わせたオリジナルメニューが楽しめます。ギャラリーでは地元ゆかりのアーティストの作品を5期に分けて展示します。
<カフェ営業時間>
9月/11:00~17:00(L.O.16:30)
10月・11月/11:00~16:30(L.O.16:00)

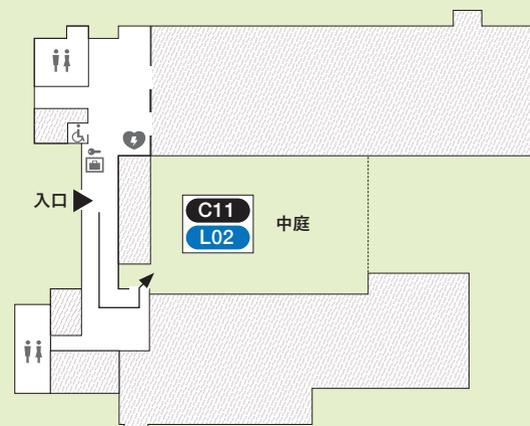
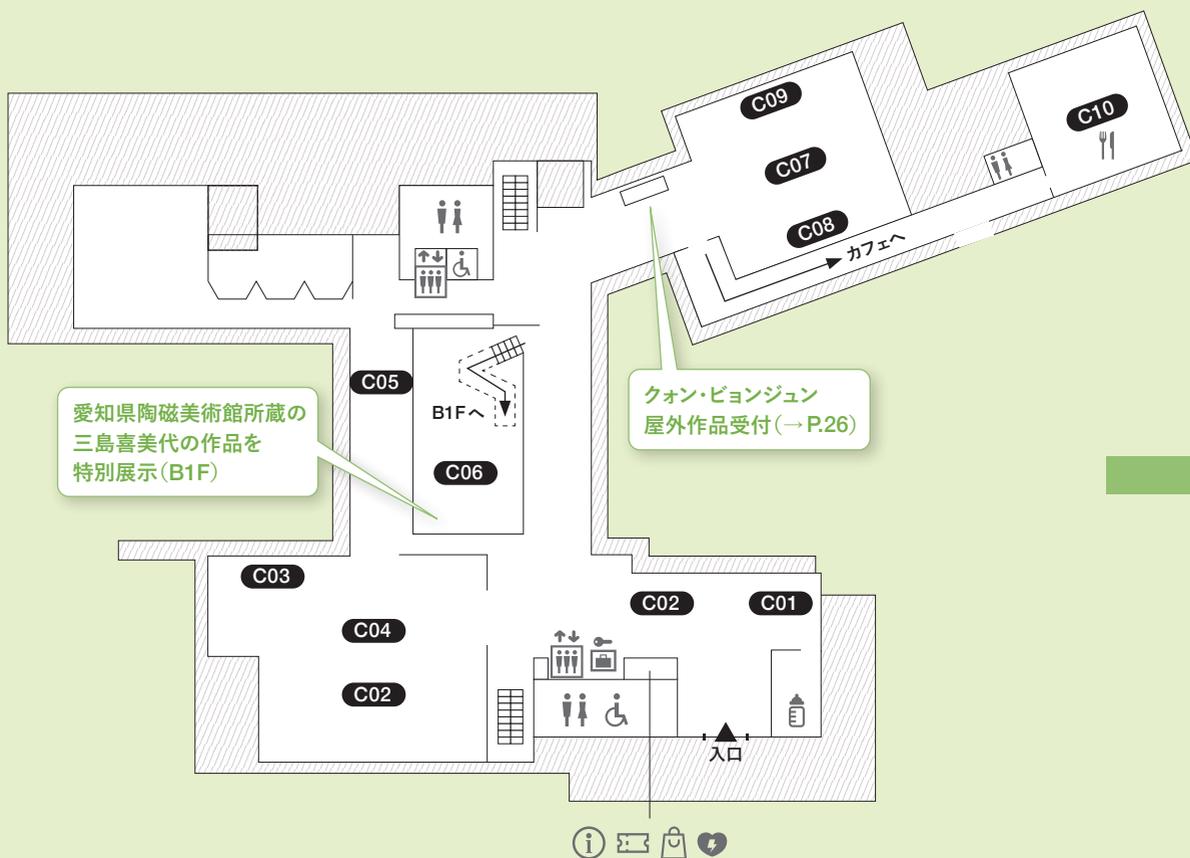


クオン・ピョンジュン(→P.26)

期間限定で実施。現代美術展チケットで鑑賞できます。
(予約可。作品鑑賞の受付は本館内。体験用のイヤフォンを受け取って鑑賞してください。)

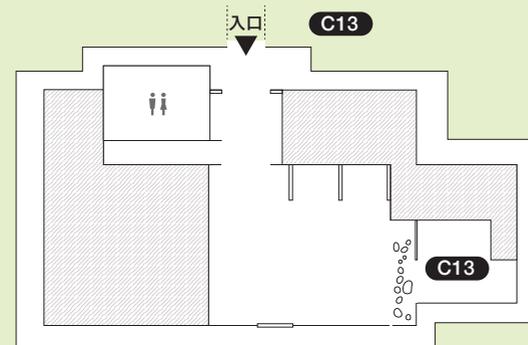
現代美術展のアーティスト紹介は→P.18

パフォーマンスアーツの紹介は→P.26



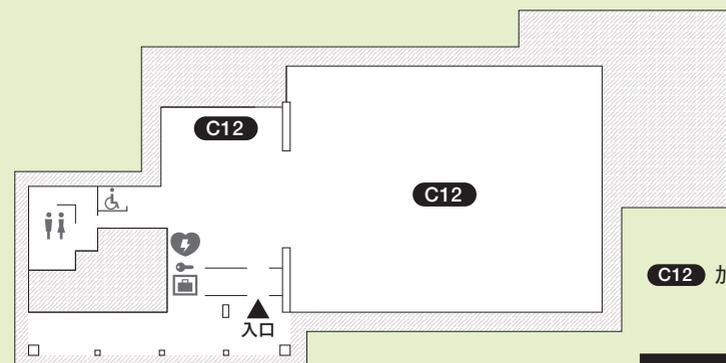
- C11** ハイブ・アース
- L02** 瀬戸の版築プロジェクト「凸」
※「凹」は芝生広場にて展示

茶室「陶翠庵」



- C13** 大小島真木

デザインあいち



- C12** 加藤泉

アーティスト紹介は→P.18

- C01** エレナ・ダミアーニ
- C02** ワンゲシ・ムトゥ
- C03** マリリン・ボロル・ポール
- C04** ヤスミン・スミス
- C05** 西條茜
- C06** シモーヌ・リー
- C07** シモーヌ・ファタル
- C08** チャヌーパ・ハンスカ・ルガー
- C09** 永沢碧衣
- C10** Barrack(古畑大気+近藤佳那子)
9月13日(土) - 9月28日(日) 近藤佳那子、古畑大気
9月30日(火) - 10月13日(月・祝) 田口美穂、柳澤学海
10月15日(水) - 10月26日(日) 鈴木優作、塚本南波
10月28日(火) - 11月16日(日) 池奈千江、Kinder garten(高田実季+森北伸)
11月18日(火) - 11月30日(日) 川角岳大、矢島与萌

連携企画プログラム

本館2Fでは、愛知県陶磁美術館の愛陶コレクション展「世界はやきものでできている」と、特集展示「灰と長石のあいまに」を開催(現代美術展チケットで入場可)。また、「瀬戸陶芸協会一内なる声を見る」(無料)も開催中。

C01

エレナ・ダミアーニ

1979年リマ(ペルー)生まれ。リマ(ペルー)拠点。



《Relief I》2023
Photo: Juan Pablo Murrugarra

C04

ヤスミン・スミス

1984年ダルグ・カントリー/シドニー(豪州)生まれ。ダルグ・カントリー/シドニー(豪州)拠点。



《FOREST》2022
Photo: THE COMMERCIAL, SYDNEY
Courtesy of the artist and THE COMMERCIAL, SYDNEY.

C07

シモーヌ・ファタル

1942年ダマスカス(シリア)生まれ。パリ(フランス)拠点。



《Mushrooms in a Forest》2023
Photo: Wolfgang Günzel.

C10

Barrack(古畑大気+近藤佳那子)

2017年愛知県で結成。愛知県拠点。

C11

ハイブ・アース

2017年アクラ(ガーナ)結成。アクラ(ガーナ)拠点。

C02

ワンゲシ・ムトゥ

1972年ナイロビ(ケニア)生まれ。ナイロビ(ケニア)、ニューヨーク(米国)拠点。



《Sleeping Serpent》2014
Courtesy of the Artist and Victoria Miro London.

C05

西條茜

1989年兵庫県生まれ。京都府拠点。



《果樹園》2022
Photo: Takeru Koroda
Courtesy of ARTCOURT Gallery
森美術館蔵

C08

チャーヌーパ・ハンスカルガー

1979年スタンディング・ロック保留地/フォート・イェーツ(米国)生まれ。グロリエタ(米国)拠点。



《A WAY HOME》2020

C12

加藤泉

1969年島根県生まれ。東京都拠点。



《無題 Untitled》2023
Photo: 岡野圭
© 2023 Izumi Kato

C03

マリリン・ポロル・ボール

1984年サンファンサカタベケス(グアテマラ)生まれ。グアテマラ(グアテマラ)拠点。



《They too, the mountains, gave us back concrete.》
2022

C06

シモーヌ・リー

1967年シカゴ(米国)生まれ。ニューヨーク(米国)拠点。



《Untitled》2023-24
© Simone Leigh, courtesy the artist and Matthew Marks Gallery

C09

永沢碧衣

1994年秋田県生まれ。秋田県拠点。



《背負う者》2018

C13

大小島真木

2023年東京都で結成。東京都拠点。大小島真木、1987年東京都生まれ。/辻陽介、1983年東京都生まれ。



《明日の収穫》2017-18
Photo: Mari Habaya
© Maki Ohkajima with Agros Art Project All Rights Reserved
青森県立美術館寄託



まもりたい。
美しい地球も
みんなの暮らしも

NITO 日東工業

本社 愛知県長久手市蟹原2201番地
瀬戸工場 愛知県瀬戸市八床町22番地4



日東工業は **ジブリパーク** のオフィシャルパートナーです。

屈指のやきものの産地が、まちなか展示の舞台

瀬戸市のまちなか

10:00～17:00 ※入館は閉館の15分前まで(瀬戸市美術館は30分前まで)
休館日:火曜(火曜祝日の場合は翌水曜) ※11/25(火)は臨時開館

瀬戸市は「せともの(瀬戸物)」の語源となった国内最大級のやきものの産地。閉校した小学校や旧銭湯、粘土の工場、芸術監督が故郷と似通うと感じたという商店街などが展示場所となり、当地ならではの多様性に富んだロケーションとともに作品を見ることができます。

スタッフによる「あいち2025」ガイド

！ まち歩きだけでも楽しい。店先の地元作品にも注目

古い窯道具を積み上げた窯垣などのやきもののまちなからしい景観や、リノベカフェや雑貨屋が点在する商店街など、新旧入り混じるまちなみが楽しめます。あちこちの庭や店先に個性豊かなやきものが飾られているのも、瀬戸のまちなかでは。

！ 可能ならゆっくり1日、時間がないときは南北どちらかを

まちなかの景色も含め1日かけて楽しんでほしいエリア。難しい場合は、南北のどちらかを選ぶと巡りやすいかも。南側には旧銭湯や美術館が、北側には閉校した小学校や工場などが、それぞれ違った魅力があります。

！ まちなかを歩く時の注意点

細い路地が多いまちなかの中心部は、徒歩で巡るのがおすすめ。住宅街での騒音や私有地への立ち入りは控えましょう。気温の高い日の水分補給は、駅前のコンビニ、まちなかのカフェや自動販売機で。コインロッカーはパルティセと、瀬戸蔵をご利用ください。



プロジェクトマネージャー
副田一穂 [愛知県美術館学芸員]

福岡県生まれ。愛知県美術館主任学芸員。「マックス・エルンスト:フィギュア×スケープ」(2012年)、「ミロ展—日本を夢みて」(2022年)、「幻の愛知県博物館」(2023年)などのキュレーション、企画に携わる。本芸術祭にはプロジェクトマネージャーとして参加。

会場全体案内図

<参考所要時間>

- 尾張瀬戸駅→株式会社 加仙鉱山 徒歩約20分
- 尾張瀬戸駅→瀬戸市美術館 徒歩約15分
- 尾張瀬戸駅→松千代館 徒歩約12分



DIGITAL MAP

梅村商店



S11

旧小川陶器店 (インフォメーションセンター)



L03
会場巡りのスタートはここから！
チケット、オフィシャルグッズも販売。



旧日本鉱泉



S01

無風庵



S10

株式会社 加仙鉱山



S09

旧瀬戸市立深川小学校



S08



ポップアップショップ



S07

松千代館



S06

瀬戸蔵つばきホール



P05

瀬戸市美術館



S02

瀬戸信用金庫アートギャラリー



L04

瀬戸市新世紀工芸館



S04

【施設開館情報】9:00～17:00 ※入館は閉館の30分前まで、「あいち2025」会期中は10/14(火)、11/11(火)のみ休館。

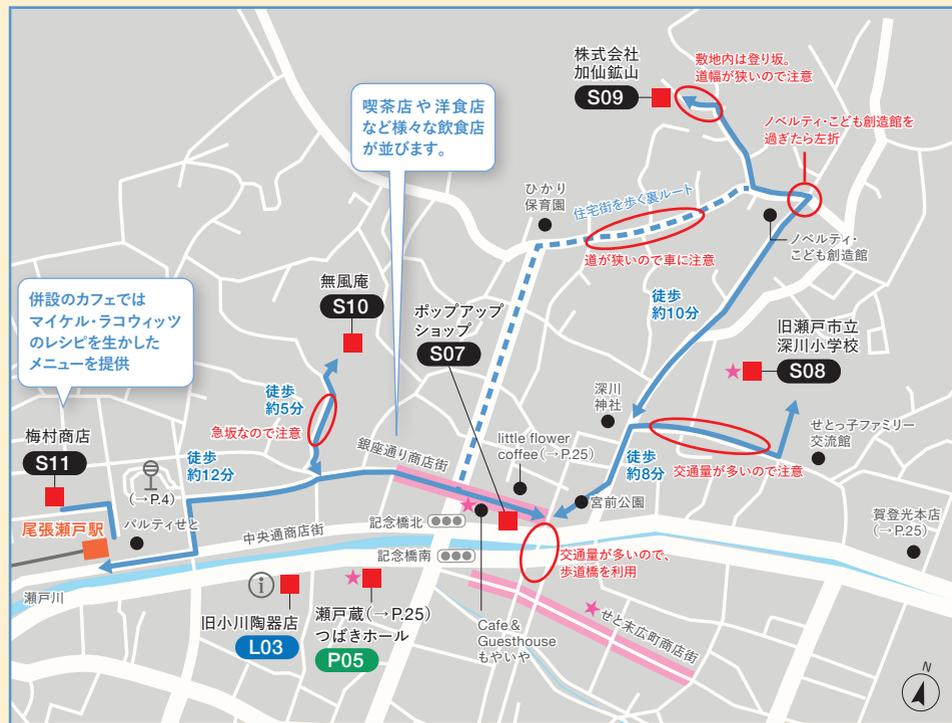
【施設開館情報】10:00～18:00 ※入館は閉館の30分前まで



- S01** 佐々木類
- S02** ミネルバ・クエバス
- S03** シェイハ・アル・マズロー
- S04** セルマ&ソフィアン・ウィスィ
- S05** メイサ・アブダラ
- S06** panpanya
panpanyaの漫画はまちなか各所にも点在。全部探してみよう!
- L03** ラーニングセンターせと
老舗の陶磁器店跡を活用したスペース。まちなかのラーニングの拠点として、ワークショップやツアープログラムを実施。
- L04** 瀬戸リソースバンク
瀬戸の陶土や窯業原料資料、植生類の標本やパネルを展示。参加アーティストの想像力を刺激したこの地ならではの資源を知れば、「あいち2025」をより楽しめます!
- P05** マユンキキ+ (→P.26)

連携企画プログラム (MAP上★)

期間	事業名	会場	主催
〈有料〉 10月(予定)	国際芸術祭「あいち2025」の歩き方	旧瀬戸市立深川小学校体育館	土衛人
〈有料〉 9月6日(土)~2026年1月18日(日)	瀬戸蔵ミュージアム企画展 瀬戸焼 受け継がれる千年の技と美	瀬戸蔵ミュージアム	瀬戸蔵ミュージアム、公益財団法人瀬戸市文化振興財団
〈有料〉 9月13日(土)~11月30日(日)	瀬戸市制施行96周年記念 瀬戸市美術館特別企画展 瀬戸の原風景—陶都瀬戸の記憶を辿る—	瀬戸市美術館	瀬戸市美術館、公益財団法人瀬戸市文化振興財団
〈無料〉 9月13日(土)~10月13日(月・祝)	瀬戸陶芸協会展 -瀬戸陶芸の今に触れる-	瀬戸信用金庫本店ギャラリーひまわり名鉄瀬戸線「新瀬戸駅」・愛知環状鉄道「瀬戸市駅」からすぐ	瀬戸陶芸協会



- S07** 富安由真
- S08** アドリアン・ビシャル・ロハス
- S09** ロバート・アンドリュウ
- S10** 沖潤子
- S11** マイケル・ラコウィッツ
- L03** ラーニングセンターせと
- P05** マユンキキ+ (→P.26)

現代美術展のアーティスト紹介は→P.24
パフォーミングアーツの紹介は→P.26



瀬戸市のまちなかの連携企画プログラム

期間	事業名	会場	主催
〈無料〉 9月13日(土)~11月30日(日)	めぐる、みつける、共につくる。すえひろ商店街ミュージアム	せと末広町商店街	せと末広町商店街
〈有料〉 9月27日(土)~10月26日(日)	瀬戸現代美術展2025	尾張東地方卸売市場 ●愛知県陶磁美術館(→P.14)から徒歩約15分	瀬戸現代美術展実行委員会/Barrack(古畑大気+近藤佳那子)
〈無料〉 10月4日(土)~11月30日(日)	アート×茶室 タネリ庵	タネリスタジオビルディング	タネリスタジオビルディング
〈無料〉 10月11日(土)~11月30日(日)	瀬戸市新世紀工芸館企画展 hope- あいちの陶芸・ガラス工芸教育機関学生選抜展	瀬戸市新世紀工芸館	瀬戸市新世紀工芸館、公益財団法人瀬戸市文化振興財団
〈無料〉 10月30日(木)~11月23日(日)	瀬戸ならではの現代アート展覧会 ~物語は続いていく~	銀座通り商店街・Cafe & Guesthouse もやいや2F	瀬戸現代アート倶楽部

アクセス
愛知芸術文化センター
愛知県陶磁美術館
瀬戸市のまちなか
パフォーミングアーツ
カレンダー！開館情報

※掲載作品は「あいち2025」出品作品とは異なる場合があります。

S01

佐々木類

1984年高知県生まれ。石川県拠点。



《植物の記憶: Subtle Intimacy (2012-2022)》2022
Photo: Yasushi Ichikawa

S04

セルマ&ソフィアン・ウィスイ

セルマ・ウィスイ、1975年チュニス(チュニジア)生まれ。チュニス(チュニジア)、パリ(フランス)拠点。ソフィアン・ウィスイ、1972年チュニス(チュニジア)生まれ。チュニス(チュニジア)拠点。



《L'Art Rue Ceramic Dolls Collection, Created by Laaroussa Artistic Collective for Community Spaces》2011-2013 Photo: © Yosr Ayadi

S07

富安由真

1983年広島県生まれ。東京都拠点。



《The Doom》2021
Photo: 西野正将
Courtesy of Art Front Gallery.

S10

沖潤子

1963年埼玉県生まれ。神奈川県拠点。



《anthology》2023
FUJI TEXTILE WEEK
Photo by Kenryou Gu

S02

ミネルバ・クエバス

1975年メキシコシティ(メキシコ)生まれ。メキシコシティ(メキシコ)拠点。



《The Trust》2023
Courtesy of Kurimanzutto Mexico, New York.

S05

メイサ・アブダラ

1989年コールファッカン(アラブ首長国連邦)生まれ。アブダビ(アラブ首長国連邦)拠点。



《EVAPORATING SUNS》2023

S08

アドリアン・ビシャル・ロハス

1980年ロサリオ(アルゼンチン)生まれ。拠点と定めずに活動。



《Mi familia muerta (My Dead Family)》2009
Photo by Carla Barbero

S11

マイケル・ラコウィッツ

1973年ニューヨーク(米国)生まれ。シカゴ(米国)拠点。



《The invisible enemy should not exist (Lamassu of Nineveh)》2018
Photo: Gautier DeBlonde
Courtesy of the Mayor of London.

S03

シェイハ・アル・マズロー

1988年シャルジャ(アラブ首長国連邦)生まれ。ドバイ(アラブ首長国連邦)拠点。



《Accordion Structure》2022

S06

panpanya

生年・拠点都市非公表。神奈川県生まれ。



《家の家》(7/8ページ)単行本『商店街のあゆみ』2022所収

S09

ロバート・アンドリュース

1965年ヌーンガー・カントリー/パース(豪州)生まれ。ミヤンジン/プリズベン(豪州)拠点。



《Presence》2019
Installation view: 'Presence' IMA Belltower. Courtesy of the artist and MilaniGallery, Brisbane.

🚩 **こんな巡り方もあり? モデルコース**

1日で全会場はしご欲張りコース

9:30 愛知県陶磁美術館→11:30 瀬戸市のまちなか→15:00 愛知芸術文化センター→(18:30 パフォーミングアーツ鑑賞)

9:30オープン愛知県陶磁美術館からスタート。各会場90~120分鑑賞して名古屋に着。スケジュールがあればパフォーミングアーツも鑑賞。

作品とともに楽しむ瀬戸の魅力

瀬戸蔵

ミュージアムをはじめ、ショップやレストランが入った観光拠点施設。休憩所、インフォメーションもあるので、まち歩きの際として利用できます。



住所: 愛知県瀬戸市蔵所町1-1
休館日: 9/29(月)、10/27(月)、11/17(月)

瀬戸の歴史を知るならここ!

瀬戸蔵ミュージアム



瀬戸のやきものづくりの総合博物館。やきもの工場や石炭窯など、昭和のまちなみが再現されているほか、展示では瀬戸焼の1000年以上の歴史を見ることができます。

開館時間: 9:00~17:00(入館は16:30まで)
入館料: 一般/520円、高校・大学生・65歳以上/310円
※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方、妊婦の方は無料
TEL: 0561-97-1190

窯元直販の厳選アイテムがズラリ

瀬戸蔵セラミックプラザ



愛知県陶磁器工業協同組合による「窯元直販ショップ」です。広いフロアには、季節ごとのスタイルリング展示や、特選品、窯元・つくり手の今を感じられるバラエティ豊かなアイテムが揃います。

営業時間: 10:00~17:30
TEL: 0561-89-5758



「あいち2025」芸術監督・スタッフのお気に入り休憩スポット

地元の人々に愛される老舗うどん屋さん



■ 賀登光本店

大正6年創業の老舗めん処。自家製麺に加え、秋頃からは自然薯を使ったメニューも人気。飲み屋使いもおすすめ。

住所: 愛知県瀬戸市切田町5
営業時間: 11:00~20:00 定休日: 水曜
TEL: 0561-82-2539

豆のおいしさをブレンドで引き出す



■ little flower coffee

ブレンドコーヒー専門店。無添加バームクーヘンなどのスイーツも人気。芸術祭をイメージした特別ブレンドも予定。

住所: 愛知県瀬戸市朝日町3-6
営業時間: 10:00~18:00 定休日: 不定休
TEL: 050-1241-6348

隠れ家以上に隠れている!? 自家焙煎コーヒー&ギャラリー



■ VOUSHO Coffee factory

古い陶器工場を改装した空間で、本や図録に囲まれて過ごせます。コーヒー以外にハーブティーやチョコレートドリンクも用意。

住所: 愛知県瀬戸市銀杏木町1
営業時間: 13:00~18:00 定休日: 火曜~金曜
TEL: 070-5258-1958

観光から体験、食まで、もっと知るなら観光情報公式サイトへ

観光サイト「せとまるっとミュージアム」では、ジャンルごとのお店ガイドもあり、イベントカレンダー、モデルコースなどを掲載。鰻、瀬戸焼そば、ごも飯(五目ご飯)などのご当地グルメ情報が盛りだくさんです。



パフォーミングアーツ

各演目のスケジュールは(→P.28)参照。

パフォーミングアーツは、会期中の毎週末に上演します。小さなお子様連れや障がいのある方も楽しめる鑑賞サポートや、声を出してしまったり途中入退場したりもOKのリラックス・パフォーマンスもご用意しています。

<チケット情報>

	一般	U25	ペアチケット
前売券	¥3,500	¥2,000	¥6,500
当日券	¥4,000	¥2,500	

●セット券

	一般	U25
3演目チケット (最大で¥2,100お得)	¥9,900	¥5,400
全演目チケット (最大で¥8,000お得)	¥24,000	¥14,000



チケットの詳細

※前売券は公演日の前日まで発売。セット券は前売のみ、枚数限定。

P01 日本初演

ブラック・グレース



Paradise Rumour

9月13日(土)~9月15日(月・祝)
愛知県芸術劇場 小ホール(B1F)

P02 世界初演・新作

パズル・アップス&ルアン・アプラーメ、 バラリ、ハイカル、ジュルムッド



Enemy of the Sun

9月13日(土)、9月14日(日)
Live & Lounge Vio・
CLUB MAGO(新栄)

P03 世界初演・新作

クワン・ビョンジュン



ゆっくり話して、 そうすれば歌になるよ

9月13日(土)~9月21日(日)
10月25日(土)~11月9日(日)
愛知県陶磁美術館 芝生広場

現代美術館のチケットで鑑賞できます/予約可

P04 世界初演・新作

態変



BRAIN

9月26日(金)~9月28日(日)
愛知県芸術劇場 小ホール(B1F)

P05 世界初演・新作

マユンキキ+



クシテ

10月3日(金)~10月5日(日)
瀬戸蔵つばきホール
10月12日(日)、10月13日(月・祝)
愛知県芸術劇場 大リハーサル室(B2F)

P06 世界初演・新作

オル太



Eternal Labor

10月10日(金)~10月19日(日)
愛知県芸術劇場 小ホール(B1F)

P07 日本初演

セルマ&ソフィアン・ウイスィ



Bird

11月14日(金)~11月16日(日)
愛知県芸術劇場 小ホール(B1F)

P08 新演出

AKN プロジェクト



喜劇『人類館』

11月22日(土)~11月24日(月・振休)
愛知県芸術劇場 小ホール(B1F)

P09 日本初演

フォスター・リニエクラ



My body, my archive

11月28日(金)~11月30日(日)
愛知県芸術劇場 小ホール(B1F)

巡回展示「ポップ・アップ!」

参加アーティストのうち14組の作品が、県内4市町を巡回します。(入場無料)

10月24日(金)~10月26日(日)
豊田市 / 豊田市民芸館



10月31日(金)~11月3日(月・祝)
設楽町 / 旧設楽町立田峯小学校



11月7日(金)~11月9日(日)
大府市 / 大府市歴史民俗資料館、
大府市役所



11月14日(金)~11月24日(月・振休)
豊川市 / 豊川市桜ヶ丘ミュージアム



シルビア・リバス
ブリヤギーター・ディア
ロバート・ザオ・レンファイ
セルマ&ソフィアン・ウイスィ
カマラ・イブラヒム・イシャグ
浅野友理子
久保寛子
西條茜
佐々木類
加藤泉
札本彩子
大小島真木
panpanya
是恒さくら
五十嵐大介(特別出品)

PR

アルフレックス名古屋
名古屋市中区栄5-28-12 名古屋若宮ビル1F
〒460-0008
tel.052-269-9770

arflex

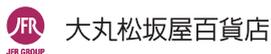
わたしたちは「あいち2025」を応援しています

助 成



協 賛

スペシャルパートナー



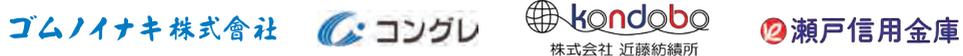
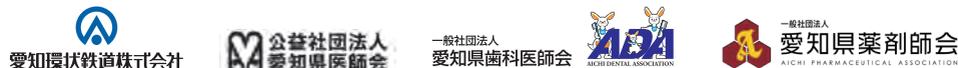
スタンダードパートナー



プラチナスponsor



ゴールドスponsor



シルバースponsor



ブロンズスponsor

株式会社アイシン/株式会社あいち銀行/愛知県行政書士会/一般社団法人愛知県建設業協会/一般社団法人愛知県鍼灸マッサージ師会/公益社団法人愛知建築士会/愛知県中小企業共済協同組合/一般社団法人愛知県土木研究会/愛知県農業土木研究会/愛知県美術館友の会/愛知県舗装技術研究会/一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会/朝日電気工業株式会社/株式会社伊藤建築設計事務所/春日井司法書士事務所/壁絵錦三/グリーンシティコム株式会社/サーラグループ/株式会社スペース/関谷醸造株式会社/セクダム株式会社/瀬戸北ロータリークラブ/一般社団法人中部経済連合会/有限会社津島ロックサービス/株式会社東海アドエージェンシー/株式会社東海理化学/トーテックアメニティ株式会社/豊島株式会社/トヨタ不動産株式会社/名古屋学芸大学 メディア造形学部 映像メディア学科/名古屋芸術大学/名古屋市教職員福利厚生会/名古屋商工会議所/名古屋ファッション専門学校/株式会社日建設計/日本空調システム株式会社/ネットヨタ中部株式会社/株式会社ハセガワエスティ/松枝伸佳/名港海運株式会社/株式会社メニコン

特別協力



協 力

青山硝子株式会社/株式会社タケナカ(シンユニティグループ)/NIKA Project Space

会場提供



問合せ

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局
〒461-8525 愛知県名古屋市東区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター内
[TEL] 052-971-3111(9:00~18:00※金曜は20:00まで)
[E-mail] triennale@pref.aichi.lg.jp [HP] https://aichitriennale.jp/